

- 氏名 : 山本 拓
- 会員番号 : PE0295
- 専門分野 : Civil Engineer
- 保有資格 : PE Civil (CA), コンクリート技士

FE 試験受験 : 2015/01

PE 試験受験 : 2018/10

PE 登録 : 2020/04



## 1. はじめに

私は日本の大学院を卒業後、日系ゼネコンの土木職員としてこれまで国内現場および国内常設技術部門、米国大学院留学を経て、この体験記の執筆時点では米領グアムの建設プロジェクトにエンジニアとして携わっております。

## 2. California PE 登録を目指すまでの経緯

2018年10月にJPEC主催のPE(Civil, Construction Depth)試験に合格した後、すぐにCredential Evaluation (以下 CE) の手続きを進めましたが、残念ながら NCEES の EES を満たしていないという結果になりました。さらに当時の時点で私の実務経験が4年強程であった一方、多くの州で非 ABET 修了者に対して6-8年程度の実務経験を要求していたことから、早期の PE 登録が厳しい状況となりました。ところが **California PE(以下 CA PE)は必要実務経験6年に対して大学院の在籍期間を算入出来、さらに実務経験は国内外を問わないことなどが判明し、自身の経歴でも十分に受験可能であるという道筋が立ったため、CA PE を目指すこととなりました。** 以下は FE 受験から CA PE 登録完了までの流れです。

FE 試験合格(JPEC)	: 2015/01
PE 試験受験(JPEC)	: 2018/10
Credential Evaluation → 非 ABET	: 2019/05
CA PE 関連	
申込書提出	: 2019/09
申込書受理 (実務経験および学歴の承認等)	: 2019/12
Seismic Exam 受験 @ Prometric Guam	: 2020/01
Engineering Survey Exam 受験 @ Prometric Guam	: 2020/02
License 登録完了	: 2020/04

CA PE を目指すことのデメリット（手間）としては、**州独自の追加試験を米国内の Prometric Center で受験する必要があること、社会保障番号(SSN)を保持していることが挙げられます。**一方で CA PE は 2 年毎にライセンス更新をする必要がありますが、CPD は求められず基本的に更新料の支払いのみで完了します。（これをメリットと呼んで良いのか分かりませんが、ライセンス更新のハードルは他の州よりも低いと言えます。）

### 3. 申込書類と州ボードの審査

申込書類は全て申込者自身から一括で州ボードへ送付します。ただし私の場合、書類提出後に州ボードから一通の Reference form の再提出を求められたため、再提出時は Reference から直接州ボードへ送付頂くよう手配しました。再提出の理由としては、**記載内容が Project Management Experience であり、Engineering Experience ではないということでした。**例えば現場経験について記載する場合は、**工程管理等についてよりも「擁壁コンクリートの型枠計算を行った」とか「仮設架台の設計計算を行った」という内容の方が、先方の求める Engineering Experience に該当するようです。**以下申込書類の一覧です。

- ・Application form … 氏名、住所、経歴一覧等の基本情報を記載
- ・Reference form … **最低 4 通必要で内 3 通は直属の上司であること。日本での実務経験を記載する場合、その上司は技術士または一級土木施工管理技士等の資格を保持していること**
- ・小切手 … 受験料および初回登録料の支払いとして
- ・本人指紋 … **州ボードを通じて指紋採取専用の用紙を入手し、採取は最寄りの警察署にて行ってもらう。**用紙は 2 枚送られてくるので、どちらに対しても指紋を取ったのち州ボードへ返送。なお自分自身で採取したものは無効となる
- ・大学および大学院の卒業証明書および成績証明書（英文、厳封済） … CE は不要
- ・州ボード規定に関する Take Home Exam … 25 問中 70%程度の正答率で合格

申込から審査完了までの流れ（州ボードとのやり取りは基本的に E メール）

申込書類が州ボードへ到着（郵便追跡サービスより）	: 2019/09 初旬
州ボードよりレビューを開始したと通知	: 2019/11 初旬
州ボードより Reference の再提出を求められる	: 2019/11 末
州ボードへ Reference 1 通を再提出	: 2019/12 初旬
州ボードより審査完了と州の試験の受験許可が下りる	: 2019/12/31

申込みから審査完了まで 3 か月程度かかります。州の試験を受けられる期間はクォーター毎に区切られ、例えば私のように 2019 3Q(2019/10-2019/12)に審査が完了した場合、Seismic および Engineering Survey は翌クォーター即ち 2020 1Q(2020/01-2020/03)に Prometric Center にて試験を受けることとなります。日程予約はオンラインまたは電話にて行います。ちなみに 1 回目で不合格となった場合、翌々クォーターに再試験を受けることが出来ます。

## 4. 試験対策

州ボードの審査を通過した次のステップとして、Seismic Exam と Engineering Survey Exam の 2 つの試験に合格する必要があります。どちらもオープンブック形式で全 55 問を制限時間 2 時間半で解答する CBT タイプの試験となります。以下にそれぞれの試験対策を示します。

### 4.1 SEISMIC

過去実績から推測される最低得点率は 50-60%、合格率は 40-50%程度です。私の場合は耐震設計に関する業務経験がなかったこともあり、通算勉強時間は約 100 時間でした。

使用した参考書は以下の通りです。

#### Reference Title Remarks

The Seismic Design Review Workbook for the California Civil P.E. Seismic Principles Exam (2018 IBC/2019 CBC & ASCE 7-16 version) By Steven T. Hiner

Hiner's book と呼ばれる受験者の間でも有名な参考書のひとつです。この参考書だけで試験範囲の 70-80%程度はカバーしています。

ASCE 7-16 Minimum Design Loads and Associated Criteria for Buildings and Other Structures

上記参考書と並んで購入を強くお勧めする参考書です。Hiner's book でカバーしていない表や図などが含まれており、試験中に何度も参照しました。

California Civil Seismic Principles Practice Exam (Twelfth Edition)

PPI 社から出版されている問題集です。比較的簡単な問題が多いですが、良い肩慣らしになりました。

ISBN: 978-1591265689

### 4.2 ENGINEERING SURVEY

過去実績から推測される最低得点率は 60-70%、合格率は 45-55%程度です。私の場合は現場での測量経験などある程度の知識があったので、通算勉強時間は約 50 時間でした。

使用した参考書は以下の通りです。

#### Reference Title Remarks

Surveying Practice Exams and Solutions for California Civil PE License 試験範囲の 70%程度をカバーしています。図や表は試験中に何度も参照しました。

ISBN-13: 978-1591263333

PPI California Civil Surveying Practice Exams, 4th edition

PPI 社から出版されている問題集でやはり簡単な問題が多いですが、上記参考書がカバーしていない内容も少し含まれています。ISBN-13: 978-1591266419

## 5. 試験当日

私はどちらの試験も仕事の合間を縫ってグアムにある Prometric Test Center にて受験しました。1 問あたり 2 分半しかなく、私の場合、Seismic は何とか時間ギリギリに解き終わり、Engineering Survey では 20 分ほど時間が余りました。試験後はどちらも 70-80%程度取れたのではという手ごたえがありました。

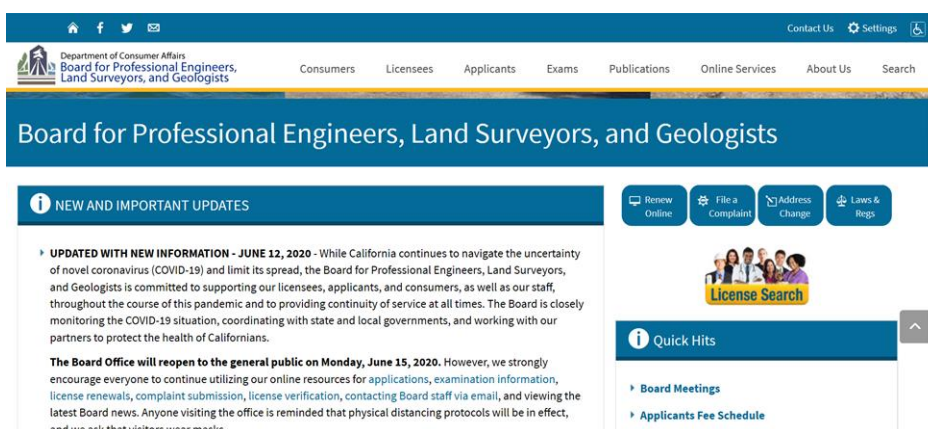
## 6. 合格通知からライセンス付与まで

結果は通常テストを受験した翌月の第 2 週目までに E メールにて受け取ります。2 つの試験に合格した後、1 か月程度で License Number がまず E メールで通知され、後日正式に資格証が郵送されます。

## 7. 最後に

業務上 PE の権利を行使する機会はまだありませんが、同僚のアメリカ人（特にカリフォルニア州から来たエンジニア）には大変な祝福を受け、彼らがこれまで以上に自分の意見に耳を傾けてくれるようになりました。これまでの努力が実を結んだと改めて思うと同時に、PE のタイトルに恥じる事のないようより責任感を持って業務に臨む事を再認識しました。

最後となりましたが、JSPE の皆様には PE 登録に至るまで多大なるご支援をいただきましたことをここに御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



California Board for Professional Engineers,  
Land Surveyors, and Geologists ホームページ



PE スタンプ

以上